

市民活動団体

活動紹介

「出前ライブ」 1月25日(土)

主催はまちおこしYAOライブ。場所はファミサロンえんがわで開催。「ライブのある暮らし」をコンセプトに気軽にライブを楽しめる機会を創り出すために演奏。シニア同士の交流の場をより楽しい空間へと後押ししていた。



▲心地良いギター演奏を披露。今後も音楽でつながる出前ライブを展開し、地域活性化に貢献したいと考えている。

「YAO笑いヨガクラブ」1月29日(水)

今回の参加者は10名。短い休憩を2回はさんで約1時間。大きな声で大口を開けて笑って深呼吸し、身体を動かす体操の要素を取り入れたヨガを実施。老若男女誰でも参加できる楽しい内容だった。4月から毎月1回プリズムホールで教室を開催予定。



▲「ホッハハハハ」「イイソ、イイソ、イイソ！」の掛け声と共に大きな声で笑って深呼吸。肩こり、悩みも飛んでゆけー！

「サロン『花珠』がオープン」2月19日(水)

主催は、NPO法人ライフサポートYOU。当法人の事務所(緑ヶ丘五丁目)を活用し、またNPO法人やお市民活動ネットワークも協働で開催。地域の方や市民活動団体が交流・ふれあいの拠点としてオープンした。当日は、タロット占いを開催した。



▲タロット占いと喫茶を行い、人と人の交流を図った。

「第19回手づくり紙芝居まつり」2月9日(日)

おはなしばすけっと・八尾市立山本図書館・紙芝居をつくる会との共催。山本出張所(山本コミュニティセンター)にて開催。当日は3歳の子どもたちから60歳代に至る方々のオリジナルな紙芝居作品が30話上演された。特に子どもたちが紙芝居づくりを通して、最後までやり遂げる達成感やものづくりの楽しさを感じてもらった事をテーマに行われている。



▲子どもたちは紙芝居上演後ご両親の前で恥ずかしげもなしに笑みを浮かべながらも眼差しは誇らしげに。また、「えっへん」また大人の紙芝居の中で歌を披露され、まさにライブ会場さながらの盛り上がりだった。

[取材：鄭 重成 (1/25)、鞠川 美代子 (1/29)、つどいスタッフ 櫻井 健治 (2/9)]



大依 和也
行政書士・社会保険
労務士。センター
「つどい」でNPO
O・市民活動団体の
ための専門家相談
の相談員(無料)。
詳細は5頁。

問題となりそうな部分としては、ペイオフのことが上げられます。例えば合併前の二行でそれぞれ五〇〇万円を超えて、預金等を行っていた場合、限度額の一〇〇〇万円を超えてしまいます。

合併後一年間は、猶予期間となりますが、その間に対応を考える必要があります。

昨年、地元の信用金庫が合併したことに
より、その対応が、顧客との話題となりま
した。

名称やコード、一部の支店が変更された
ことにより、給与の受取等通知する必要も
ございますが、預金通帳や口座振替等は引
続き使用できることにより、通常は特に何
もなされずとも問題はないかと思われま

第80回「金融機関の合併」

つぶさきコラム

大依 和也